



## 2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年7月12日

上場会社名 ティアンドエスグループ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4055 URL <https://www.tecsvc.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 武川 義浩  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員COO (氏名) 木下 洋 TEL 045-263-8286  
四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年9月期第2四半期の業績（2023年12月1日～2024年5月31日）

#### （1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	1,770	3.7	314	△0.8	314	△2.2	218	△2.9
2023年11月期第2四半期	1,708	8.9	316	10.5	321	9.3	225	9.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	28.85	28.69
2023年11月期第2四半期	29.78	29.55

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	2,824	2,333	82.6
2023年11月期	2,616	2,163	82.7

（参考）自己資本 2024年9月期第2四半期 2,333百万円 2023年11月期 2,163百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	0.00	—	6.55	6.55
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	—	—	7.00	7.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年9月期の業績予想（2023年12月1日～2024年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,142	—	588	—	589	—	401	—	52.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2024年2月28日開催の当社第8回定時株主総会において「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、決算期変更の経過期間となる当事業年度は、2023年12月1日から2024年9月30日までの10か月間の変則決算となっております。このため、通期の対前期増減率については記載していません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	7,633,200株	2023年11月期	7,633,200株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	54,440株	2023年11月期	54,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	7,578,514株	2023年11月期2Q	7,560,836株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの各種政策の下、緩やかな景気の持ち直しがみられるものの、電子部品・デバイスの生産は減少するなど、一部に弱さがみられました。半導体の供給不足や資源価格の上昇、為替相場の変動など先行き不透明な状況が続いておりますが、企業活動においては、在宅勤務やオンラインミーティングの活用、クラウドサービスの活用、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進など、ITの重要性や業務のIT化の流れはますます拡大している状況であります。

当社の事業は、システム開発及びその関連サービスの単一セグメントですが、事業の構成を3カテゴリーに分け事業展開しております。従来、ソリューション、半導体、先進技術ソリューションの3カテゴリー構造としておりましたが、当期首より、DXソリューション、半導体ソリューション、AIソリューションの3カテゴリー構造に変更しております。上記のような経済環境のなか「DXソリューションカテゴリー」では重電、社会インフラ、業務系システム等の領域において、大手企業顧客を中心に情報システムの開発及びITサービス事業の拡大を図ってまいりました。「半導体ソリューションカテゴリー」では半導体関連企業向けに、工場内システムの開発、保守及び運用サービスの拡大を図ってまいりました。「AIソリューションカテゴリー」ではAI関連製品を開発中のお客様向けのソリューション提供の拡大を図ってまいりました。

当第2四半期累計期間におけるカテゴリー毎の経営成績は次のとおりであります。

#### ①DXソリューションカテゴリー

当第2四半期累計期間の売上高は、1,105,691千円（前年同四半期比17.6%増）となりました。

主要取引先に加え、その他の既存取引先及び新規取引先からの受託開発案件の受注が堅調に推移しました。

#### ②半導体ソリューションカテゴリー

当第2四半期累計期間の売上高は、522,763千円（前年同四半期比16.4%減）となりました。

半導体メーカーの業績低迷の影響を受け、工場内システムの開発業務が下半期以降にずれ込みました。

#### ③AIソリューションカテゴリー

当第2四半期累計期間の売上高は、142,194千円（前年同四半期比0.4%減）となりました。

AI、画像認識、ハードウェア制御等の高度技術を駆使したサービスや最先端技術に関わる研究開発支援サービスが計画通り推移いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高1,770,648千円（前年同四半期比3.7%増）となりました。人材採用費5,985千円の増加や持株会社化費用4,659千円の発生等が影響し、営業利益314,145千円（前年同四半期比0.8%減）、経常利益314,456千円（前年同四半期比2.2%減）、四半期純利益218,625千円（前年同四半期比2.9%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は2,543,920千円となり、前事業年度末に比べ91,774千円増加いたしました。これは主に四半期純利益の計上等により現金及び預金が117,924千円増加し、ファクタリング債権の回収に伴い未収入金が34,943千円減少したことによるものであります。固定資産は280,914千円となり、前事業年度末に比べ116,598千円増加いたしました。これは主に持株会社体制への移行に伴うティアンドエス分割準備株式会社（現ティアンドエス株式会社）の設立により関係会社株式が110,000千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は2,824,835千円となり、前事業年度末に比べ208,373千円増加いたしました。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は429,792千円となり、前事業年度末に比べ33,972千円増加いたしました。これは主に夏季賞与の引当計上に伴い賞与引当金が42,218千円、未払法人税等が24,793千円増加し、冬季賞与の支給に伴い未払費用が42,348千円減少したことによるものであります。固定負債は61,963千円となり、前事業年度末に比べ4,571千円増加いたしました。これは退職給付引当金が4,571千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は491,755千円となり、前事業年度末に比べ38,543千円増加いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は2,333,079千円となり、前事業年度末に比べ169,830千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が四半期純利益の計上により218,625千円増加し、配当により49,638千円減少したことによるものであります。なお、当第2四半期会計期間に減資を実施し資本金300,783千円を資本剰余金に振り替えております。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2024年1月30日の「決算期変更に伴う通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年11月30日)	当第2四半期会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,721,266	1,839,190
売掛金及び契約資産	434,644	433,584
仕掛品	12,942	20,074
未収入金	268,606	233,662
その他	16,485	19,108
貸倒引当金	△1,800	△1,700
流動資産合計	2,452,145	2,543,920
固定資産		
有形固定資産	19,481	18,807
無形固定資産	1,609	1,811
投資その他の資産	143,225	260,295
固定資産合計	164,315	280,914
資産合計	2,616,461	2,824,835
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	170,884	185,140
未払法人税等	79,732	104,525
賞与引当金	7,023	49,241
その他	138,179	90,884
流動負債合計	395,820	429,792
固定負債		
退職給付引当金	57,392	61,963
固定負債合計	57,392	61,963
負債合計	453,212	491,755
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	340,783	40,000
資本剰余金	266,662	567,843
利益剰余金	1,629,556	1,798,543
自己株式	△73,753	△73,307
株主資本合計	2,163,249	2,333,079
純資産合計	2,163,249	2,333,079
負債純資産合計	2,616,461	2,824,835

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
売上高	1,708,065	1,770,648
売上原価	1,182,041	1,246,247
売上総利益	526,023	524,401
販売費及び一般管理費	209,348	210,255
営業利益	316,674	314,145
営業外収益		
受取利息	2	21
助成金収入	225	—
補助金収入	4,969	—
雑収入	0	665
営業外収益合計	5,196	686
営業外費用		
株式交付費	30	—
支払手数料	347	376
その他	0	0
営業外費用合計	377	376
経常利益	321,494	314,456
税引前四半期純利益	321,494	314,456
法人税、住民税及び事業税	83,336	104,528
法人税等調整額	12,976	△8,698
法人税等合計	96,313	95,830
四半期純利益	225,181	218,625

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2024年2月28日開催の第8回定時株主総会決議に基づき、300,783千円の減資を行い、同額をその他資本剰余金へ振り替えております。2024年3月4日付で減資の効力が発生し、また、譲渡制限付株式報酬として自己株式を処分したことも合わせ、当第2四半期累計期間において資本金が300,783千円減少し、資本剰余金が301,180千円増加しております。

この結果、当第2四半期会計期間末において資本金が40,000千円、資本剰余金が567,843千円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間（自 2022年12月1日 至 2023年5月31日）

当社の事業は、システム開発及びその関連サービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間（自 2023年12月1日 至 2024年5月31日）

当社の事業は、システム開発及びその関連サービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。